

# 大河信濃

第103号

発行日  
平成30年3月

発行  
新潟県立長岡農業高等学校  
PTA広報委員会

〒940-1198  
長岡市曲新町3-13-1  
TEL(0258)37-2266  
(題字:1年2組 久富 琴音)

明るく楽しく前向きに♪



PTA会長  
柳 素子

日頃からPTA活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

月日が経つのは早いもので、私がPTA会長の任を引き受けさせていただいてから一年が過ぎようとしております。この一年間、会員の皆様、役員そして先生方、加えて家族の理解と協力があつたおかげで、私らしく明るく楽しく前向きに活動することができます。

一年を通してたくさんの方と交流を

## 貴重な高校生活をどう過ごしますか



校長  
中村 满夫

ある調査によると、二十歳から五十九歳までの男女に小学生の頃になりたかつた職業と現実について聞いたところ、各世代であわせると約一六%の人がありたかつた職業に就いた経験をしたといいます。それは六人に一人が、小学生の頃の夢をあきらめずに叶えたといえるのかもしれません。統いて、あの頃の自分に今伝えたいことは何かという質問に、圧倒的に多かったのは「勉強をがんばれ」で、その次が「夢に向かって進め」という回答だったそうです。

新潟日報の「窓」にあつたある高校三年生の投稿記事です。その生徒は高二の時に中学生から続けていた競技の部活動をやめることになり、周囲の

持つ機会がありました。積極的にお話をさせていただき、多くの経験と知識、感動を得る事ができました。そこで中でもPTA校内研修では、鷺巣農場を訪問して農業実習を体感し、大自然の中での生徒達は実習を行い研鑽を重ねているのだと、とてもたくましく思えた事が心に残っています。就任当初は戸惑う事も多く、至らない点もあった私ですが、PTA活動を通して生徒達と同じように私自身成長することができた一年間だったと思います。

この学校で活動できた事に改めて感謝し、全ての会員の皆様と長岡農業高校の今後のご活躍を祈念いたします。本当にありがとうございました。

先生方から、部活動は高校の時にしかできないのだからやめるなど説得されました。その時の自分は周囲が見えず、その助言を受け止めることができなかつたそうです。そのことをとても後悔し、高校生活を思い返すとほかにも後悔が数多くあると述べています。

次に、ある商業高校三年生の話題です。税理士や公認会計士の登竜門となる日商簿記検定一级試験に合格したという記事がありました。合格率五・九%の超難関で、合格者の大半は社会人だそうです。その生徒は早くから税理士になるという目標を持ち、平日三時間、休日は五時間と毎日勉強したそうです。人生は選択の連続です。でも決断するには、自身の中に自分を後押ししてくれる明確な根拠が必要です。

夢や目標に向い、なりたい自分に近づくため、冷静に明確な根拠をつくるには、高校の三年間をどう使うかがとても大切です。みなさんは毎日をどのように考え方で過ごしていきますか。





第68回 10/25・26

# 学校農業クラブ全国大会

来年は「鹿児島県」で、全国大会が開催されます。

1・2年生の皆さん、今から農業鑑定学習に励みましょう!



## 全国大会に参加して

農業鑑定競技 畜産の部 最優秀賞 本田 愛

農業鑑定の全国大会に参加させていただき、とても良い経験になりました。私は、本番に向け予想問題を解いたりカードや資料などを使って勉強をしてきました。分からないことなどは友達と一緒に勉強をしたことで覚えることができました。大会当日は人が多くとても緊張しましたが、最優秀賞という結果を残せてとても嬉しいです。この経験を活かして将来の目標に近づけるように努力していきたいです。

## 入賞者 農業鑑定競技会

最優秀賞	分野畜産	本田 愛	(3年1組)
優秀賞	分野園芸	吉田 航太	(2年2組)
優秀賞	分野畜産	大平 悠里	(3年1組)
優秀賞	分野畜産	中野 奈史	(3年1組)
優秀賞	分野食品	保科 莉子	(3年4組)
優秀賞	分野食品	宮本 結香	(3年4組)

分野畜産で  
最優秀賞!

他5名の皆さん  
が入賞されました。  
おめでとうございます!



# 2017全国農業高校収穫祭

11/11・12 ● 東京大丸百貨店



私たちは、11月11日(土)、12日(日)の両日、東京駅に隣接する大丸百貨店で行われた「全国農業高校収穫祭 2017」に参加させていただきました。

この販売で長岡農業高校の農産物をPRし、多くの商品を買っていただくために、どのようなディスプレイやパッケージが必要か、また説明の内容などを考え、準備をしました。

当日、はじめは慣れない環境や東京のお客様への対応がつかめず、商品が売れませんでした。1日目の午後から、やっと積極的に「長農魂、元気で明るく」の精神で、お客様に商品を手にとっていただくための試食を提供し、買っていただくために説明を工夫し、買っていただくことができました。特に、「米菓 ライスナック」や「米粉入り中華麺」などを完売することができました。しかし、パッケージを考えてきた 300g入りのコシヒカリが売れず、「ミルキークイーン」や「夕やけもち」など特徴のある珍しいコメが売れ、長岡では売れているイチゴジャムはなかなか売れないなど、東京のお客様のニーズの違いを感じました。

2日間の参加を通じて、私たちは「笑顔で接客することの大切さ」を学び、長岡市と違う場所で販売することの難しさを痛感しました。長岡農業高校、そして新潟県内の農業高校生の代表として、貴重な体験をさせていただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

生産技術科3年 作物生産コース 上野明香里／小林 那美／小林 美深／廣井 里奈

## インターンシップ研修 報告会

発表者

氏名	研修受入先
野上 紗歌・斎藤 真愛・伊地知冬香	株式会社浅草屋フーズ
五十嵐梨花・太田 隼輔	CAFE Gramercy
長谷川綾香・齋木 結月・新保 杏佳	みしま中央保育園
藤澤 美紅・小林 昂輝	株式会社原信 宮内店
阿部 朋枝・小島 美海	株式会社ホテルオーラ新潟
竹内 佳恋・山本 真穂・渋谷 潤奈	医療法人成心会 吉田病院

1月24日(水) 研修先の方にも出席していただき、開催しました。

氏名	研修受入先
早川 諒・酒井 翔汰	株式会社ドルチェ小川
小林 葵・住吉 卓也・谷内田 栄	悠久山小動物園
村山 葵・藤崎 優里	長岡市立中央図書館
小林 千紘・関根 小春	株式会社 宮川苑
井上 竜駆・諸橋 裕人	農家研修
風間 桃香・原 彩香・高埜 美森	農家研修

1/19

# 校内学習成果発表会

15の発表がありました



- III類 新潟県内における食用ギクの嗜好に関する研究 2**  
2-4 佐藤ももこ／佐藤 愛里／吉田 航太／高澤 桜菜  
高野 祥／田村 優果／井上 真生



- I類 長農百年桜（ソメイヨシノ）のさし木増殖法の確立に関する研究**  
3-3 徳橋 彩花／柴木 菜緒／吉原 瑞乃  
阿部ひより／大川 美帆



- I類 微生物を利用した草花・野菜の栽培**  
～酵母菌、乳酸菌、納豆菌は植物の生育を助けられるか～  
3-2 杉山 雄一／山岸 瑞希／吉井絵理奈／山田ひより  
井田 莉瑚／倉重 里菜／渋谷 花菜



- I類 愛情たっぷり！こだわり長農豚**  
3-1 早川 結也／坂田 美咲／佐野 由季  
大平 悠里／西山 玲寧／山本 瑞稀



- II類 「陸稻をつくろう」-ネリカがアフリカを救う-**  
2-3 新保 杏佳／田口 七瀬／小林ひなの  
齋木 結月／斎藤 遙香／金子 亞未

上記受賞者より、来年度のプロジェクト発表県大会への出場が決定しました。

I類 長農百年桜（ソメイヨシノ）のさし木増殖法の確立に関する研究

II類 「陸稻をつくろう」-ネリカがアフリカを救う-

III類 新潟県内における食用ギクの嗜好に関する研究 2

## ～学習成果発表会を終えて～

発表をおこなった生徒のみなさん、学習成果発表お疲れさまでした。

長い期間をかけた研究や、本校の生徒・職員だけでなく、地域や企業と関わりながらの研究をしていることがわかりました。新しいテーマで挑戦しているグループもあり、発表会がとても活性化されました。各部門で充実した実験実習が行われていたものと考えています。

この発表を来年、再来年に引き継ぎ、より良いものにしてもらいたいと思います。

## 第26回「私たちと農業・JA」意見文 入賞者

優秀賞

### 「耕作放棄地を減らすために」

生産技術科 片桐 真泉

私の住んでいる新潟県長岡市関原町は、四方を田畠に囲まれた緑豊かな町です。田んぼのイネが青から眩しいほどの金に成長して変化していく様子や、畠の作物の移ろいなど、身近に四季折々の景色を楽しめるところです。

私の祖父母と父はこんな町で暮らしてきました。祖父母は昔から農家で、田んぼや畠などの土地をたくさん持っています。でも祖父は数年前から体力の衰えを理由に、自分の田んぼを委託しています。祖母は、そんな祖父の姿を見てか、毎日毎日畠仕事をして決して畠を手離すまいと懸命に働いています。祖母の畠の周りは耕作放棄された田畠が多くあります。そばでその土地の荒れ廃れる様子を見ているからこそ、自分の畠だけはそうならないように守ろうとしているかもしれません。一度でも耕作をやめて放棄するなら、そこをまた復元するのは大変なことです。放棄された時間が長ければ長いほど、それだけ困難になってしまいます。

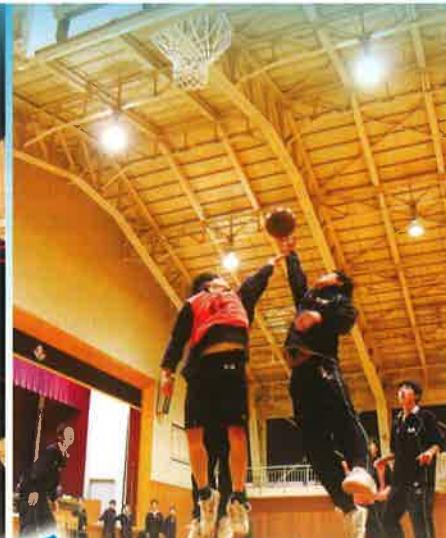
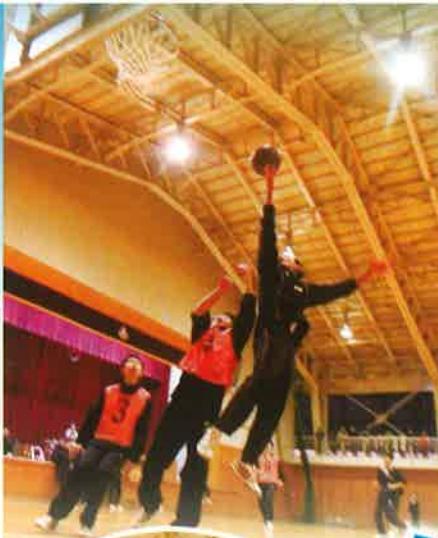
現在日本では、耕作したくても耕作できなくなった耕作放棄地が、とても深刻な問題になっています。私の祖父のように、老齢が理由で手離した人たちが多いかもしれません。耕作を放棄すれば、その農地では雑草や害虫が増え、周辺の農地にも影響をもたらします。鳥獣の活動範囲を広めたり、国内の食糧自給率を減少させたり、ゴミの不法投棄がされやすくなったりという問題があります。農地の保水能力が低くなり、雨水を河川へ流出しやすくなるので洪水が起きやすくなるということにもつながるかもしれません。しかし、こうした様々な問題を知ってはいても、土地の所有者や農家の方達だけの力ではどうにもできずやむを得ず放棄してしまうという問題の方が深刻なのかもしれません。やはり、個人だけでなく、市民や県民全体でこの問題に取り組む必要があると思います。耕作放棄は、本来なら所有者の問題ではありますが、ここまで述べた通り、

市民や行政、自治体が関わり、必要な制度や対策を進めることも重要な場合があります。では具体的にはどのような対策があるでしょうか。私の家の近くには、農業を体験できる畠があります。そこでは、ジャガイモやトウモロコシ、エダマメなど季節の野菜を収穫することができます。農業と関わることの少ない若い人や親子連れで賑わいます。耕作放棄された農地や耕作できない人から借りた農地などを活用することで、放棄されたままにすることを防げるのであります。耕作放棄地の活用だけでなく、次世代の農業従事者を育てるにこもつながっていくのではないかと、私は思いました。この取り組みを行政や自治体、幼稚園や保育園、学校などと連携すれば、もっと効率よく行えるのかもしれません。また、耕作放棄地を太陽光発電の場所として使用するという対策もあります。そもそも、農地は日照の良さがウリなので太陽光発電に適しているのです。太陽光発電パネルを設置し、太陽光によって電気を生み出して、発電した電気を電気会社に売ることで利益を得ることも可能になります。このように他の市民や行政、自治体が加わるなら、土地所有者だけでは解決できなかった問題もよりよい活用方法を見い出すことができるのです。結果として、耕作放棄地の減少へつなげることができます。

私は、この町がいつまでも活気のある緑豊かな町で自然と暮らせる町であり続けられるように、地域や行政、土地を所有されている方たちと協力したいと思います。きちんと整備され、自然に惹かれて人が集ってくる、そんな町になって欲しいと思います。そのためにはまず、自分の祖父母を助け、所有者に寄り添える人になることが重要だと痛感しています。高校卒業後は、祖父母や家族を助けながら、地域の方たちとのコミュニケーションも大切にしていきたいと考えています。そのようにして、私なりの耕作放棄地への対策ができたらと思います。

奨励賞 「食育は子どもも大人も」 生活環境科 新保 杏佳

努力賞 「農業を学ぶということ」 農業科 笠松 純菜



# クラスマッチ

12/22(金)

今年度の競技は男子・女子バスケットボール、男女混合バレー、女子バレーの4種目でした。先輩後輩関係なく、全力を出し切った試合で盛り上りました。



**女子バスケットボール 優勝**

3-1 小林 美深

皆で楽しくできて本当に良かったと思います。2連覇できました。



**女子バレー 優勝**

3-2 矢嶋 萌

皆で楽しくできて良かったです。



**男子バスケットボール 優勝**

3-2 山村 慎吾

今年は優勝できて嬉しいです。



**男女混合バレー 優勝**

3-4 柿倉 永遠

練習中はいろいろあり、みんなで喧嘩しあつたりしてチーム仲は最悪だったのですが、最後はみんなで協力団結し、優勝することができました。



## ●編集後記

「大河信濃」は、子ども達の頑張っている姿、楽しい様子、PTA活動を保護者の皆様にわかりやすく伝えるように構成しております。

ご家族で広報誌を見ながら会話を花が咲けば幸いです。  
「大河信濃」発行に協力していただいた皆様、本当にありがとうございました。  
(副委員長 宇山理恵)

## ●写真提供者

写真かたぎり 様  
フォトスタジオウスター 様  
渡部 一博 様  
服部 久典 様

## ●広報委員（敬称略）

星野 美和（委員長）  
横山 貴子／小飯塚由美子／鈴木 浩二  
相澤 奈緒／室橋 幸美／重山 佳子  
宮 圭子／若月 亞紀／岩崎 美和  
宇山 理恵（副委員長）／川上 裕子  
平田 雅子／三浦 早苗



◀長岡農業高校HP



# 修学旅行

12月5日～8日 — 沖縄

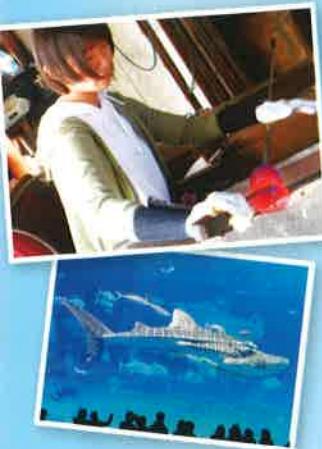


月/日	行 程				
12/5	長岡	東京	浜松町	羽田空港	那覇空港
	首里城	—	那覇市内(宿)	国際通り(散策)	那覇市内(泊)
12/6	那覇市内(宿)	ガマ/荒崎海岸/ひめゆりの塔	沖縄ワールド	(昼食)	
	普天間基地	クラス別農業的価値施設	北部地区民泊入村式	各家庭(宿)	[民家生活体験]
12/7	各家庭	離村式	北部地区体験コース(選択別)	名護市内(泊)	
12/8	名護市内(宿)	美ら海水族館	那覇空港	羽田空港	学校/長岡駅

## 最初で最後の修学旅行

2年1組 高野 涼太

私は、今回の三泊四日の修学旅行をとても満喫することができたと思います。世界遺産の見学から始まり、国際通りでの買い物。平和教育では、ガマや海岸で話を聞きました。民泊に体験活動、美ら海水族館と盛りだくさんの修学旅行でした。高校では最初で最後の修学旅行でしたが、素晴らしい四日間にすることができました。



## 修学旅行

2年2組 齋田龍太郎

私たちは修学旅行で沖縄へ行ってきました。私の中で印象に残っているのは、戦跡のガマという所に行つたことです。ガマというのは米軍の空襲から身を守るために場所です。とても暗く足場が悪い中で生活していることを考えるととても怖く感じます。滅多に行けない所に入ることができとても良い経験になったと思います。



## 1番楽しかったこと

2年3組 齋木 結月

修学旅行四日間を通して私が一番印象に残っているのは、民泊です。私にとって初めての民泊に行くまでは緊張していたけれど、行ってみたらお父さんもお母さんもすごく優しかったです。民泊ではハートロックに行ったり、琉装体験をしたり、フォトフレームを作ったりしました。短い期間だったけど、すごく楽しかつたです。



## 修学旅行を振り返って

2年4組 勝沼 泉玖

修学旅行では、沖縄の戦争時のことや伝統文化について学ぶことができました。私が修学旅行で楽しかったことは、シュノーケリング体験です。海に潜ってみると珊瑚や沢山の魚を見ることができ、嬉しかったです。民泊での三線体験は指の動きを覚えるのがとても大変だったけど伝統文化について学ぶ良い機会となりました。

